

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した道徳教育の取り組みにより「ふるさと千代田の町や人が好き」99%や自己肯定感が向上するなど成果を出すことができた。</li> <li>・「自らの夢や目標の実現に向けて努力する」99%と自分を高めていこうとする気持ちを高めることができた。</li> <li>・毎学期「学習頑張ろう週間」「自学ノートの推進」などを実施したが、家庭学習時間の目標達成ができなかった。課題として残った。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「渾身勉学」「白鳥蘆花に入る」 ～ 夢に向かって、気づき・考え・行動する」児童の育成</p>
3 本年度の重点目標	<p>①自分づくり（得意分野をもち、仲間と未来を語る心優しい子の育成） ②仲間づくり（意欲的で、自信をもって自己表現できる子の育成） ③学びづくり（試行錯誤し、根気強く挑戦できる子の育成）</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上 (学びづくり)	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・学期末にマイプランを見直し、共通する課題等を研修会等で共有する。「授業づくりのステップ1・2・3」の振り返りを毎週行い、指導の手立ての確立の促進を図る。							
	○家庭学習の習慣化	○「学年にあった時間、家での勉強ができて」と回答する児童75%以上	・毎学期「学習がんばろう週間」を行い、家庭での学習時間と内容の確認を保護者と行う。「小学生新聞」の活用を、上学年において自読タイム等で行う。							学力向上Co
●心の教育 (自分づくり)	●児童の「よさを見抜き、認め、伸ばす」支持的風土のある学級・学校づくりの取組	○カード1年間に25枚以上 ○「心タイムアンケート」各項目90%以上	・「心タイム」等で、「ほかほかカード」「心の木カード」を書かせたり、スターシールを活用したり、エンカウンターや「自慢大会」などをしたりすることで、自己肯定感の向上を図る。							自分づくり部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等についての組織的対応ができて」と回答した教員95%以上	・毎月1回「心アンケート」を行い、その結果を生徒指導連絡会で全職員へ共有する。 ・SCや地域の方を含めた、年2回のいじ							生徒指導 教育相談
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」と回答する児童の割合95%以上	・各学期に「マナー教室」を実施し、学年や個人に応じた夢や目標を立て、実現に向けて何をどう行おうか、考え努力を継続する。							
●健康・体づくり (仲間づくり)	●仲間のよさが実感できる体験活動の充実	○「友達と力を合わせて、生活や勉強ができて」と回答する児童の割合95%以上 ○「昼休み外で元気に遊んでいる」と回答する児童の割合90%以上	・縦割り活動を充実させるため、毎学期縦割り班対抗の種目を児童が主体的に計画し、実行する。 ・縦割り班を有効に活用し、体育的行事やスポーツチャレンジによる体力づくりへの取組を行う。							体育主任
	●「白鳥蘆花に入る」の精神が生きるボランティア活動の充実	○ボランティアパスポート1冊以上100% ◎進んで元気なあいさつをする児童、あいさつ運動に取り組む児童90%以上	・ボランティア集会や放送で、委員会の児童がボランティアについて伝えるようにし、全児童が自主的にボランティア活動に取り組むようにする。 ・あいさつやあいさつ運動など、よい行いをしている児童を各学級や全校朝会などで紹介する。							
	●「望ましい生活習慣の形成」	○学年に応じた就寝時間を守る児童の割合80%以上	・保健だよりや長期休業前の生活の話などを通して、家庭での過ごし方（勉強やゲーム等の時間）のルール作りなどの啓発を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・18:15の全職員退勤時刻と毎週金曜日の定時(17:30)退勤日を周知徹底し、実践する。							教頭
	○働きやすく、疲労蓄積の低減を目指した働き方改革の推進	○「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」での「負担度 やや高い」職員の割合15%未満	・校務用フォルダの整理活用、提出文書や校務分掌の平準化を図り、各指導部で行事等に複数で対応するように努める。							教頭 養護教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域の特色を生かした教育 (仲間づくり)	○地域教材の活用 (「次郎の里」教育の実践)	○「千代田の町や人が好きです」と回答する児童95%以上	・下村湖人家体験学習を、各学年1回実施する。							

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------